



2022年
夏号



北海道立向陽ヶ丘病院

認知症疾患 医療センター

☎ 093-0084

北海道網走市
向陽ヶ丘1丁目5番1号

TEL/FAX(直通)
0152-44-0500

お問い合わせ、ご相談等
の際は、上記までお電話をお
願います。

Dementia Disease Medical Center

DDMC communication

北海道立向陽ヶ丘病院 認知症疾患医療センター通信

当認知症疾患医療センターでは、認知症の方やそのご家族が安心して
住み慣れた地域で少しでも長く暮らしていけるように活動を行って
います。

本通信は、当センターへの相談ケースや、皆様に知っていただきた
いことなど、様々な内容について掲載させていただきます。

今回のテーマは「**認知症の方が服用するクスリ**」です。

82歳の夫は、半年前に認知症といわれ、**抑肝散**という漢方薬を飲んで
います。これで認知症はよくなるのでしょうか？（網走市72歳女性）

認知症の薬物療法は、記憶や見当識障害といった中核症状に対する治療
と、興奮や攻撃性、うつや不安、幻覚妄想といった行動心理症状に対する
治療とにわけることができます。わが国ではドネペジル、ガランタミン、
リバスチグミン、メマンチンがアルツハイマー病の中核症状に使用できる
薬です。これらの薬剤によって**記憶障害そのものを改善できるわけではあ
りませんが、進行を一定程度遅らせることができる**といわれています。ま
た、ドネペジルは、レビー小体型認知症の治療薬としても承認されていま
す。「**抑肝散（よくかんさん）**」は、行動心理症状に対して使われる
薬で、神経の興奮状態を鎮めて、攻撃的で怒りやすい時やイライラ等
の症状に有効として用いられる場合があります。

当院中島薬剤師のコメント

「高齢になると、これまでに経験した病気や体調変化を改善す
るために、服用する薬が多くなることは避けられません。副作用
が少ないと思われがちな漢方薬ですが、抑肝散にはカンゾウ
（甘草）が含まれおり、低カリウム血症による不整脈や浮腫等
が生じる場合がありますので注意が必要です。診察の際には、
体調の変化を医師にしっかり伝えることが大切です。」

行動心理症状の改善は、介護をする人にとっても
大きな救いとなります。

